

学校便り 7月



令和8年7月1日
呉市立川尻小学校

自分の命は自分で守る

7月を迎えると、私は毎年、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）のことを思い出します。

あの日、広島県では記録的な大雨が降り続き、県内各地で土砂災害や河川の氾濫が発生しました。中でも呉市では、市内の至る所で土砂崩れが起こり、多くの道路が寸断されました。広島市と呉市を結ぶ交通網も大きな被害を受け、長い間、陸の孤島とも呼ばれる状況となりました。断水が続き、普段は当たり前に使えていた水や道路のありがたさを改めて実感しました。

テレビに映し出された土砂に埋もれた家屋や道路、避難所で不安な日々を過ごす人々の姿は、今も鮮明に記憶に残っています。そして何より、多くの尊い命が失われた現実には深い悲しみを覚えました。

災害は突然やってきます。しかし後になって振り返ると、「危険を感じた時に避難していれば」「避難情報が出た段階で行動していれば」という声も少なくありません。災害から命を守るためには、誰かの指示を待つだけでなく、自ら危険を察知し、早めに行動することが大切です。川尻小学校では防災教育をするうえで「自分の命は自分で守る」を大切にしています。

6月6日（土）参観日を行い、全ての学級で防災について授業を行いました。子供たちは保護者と一緒に土砂災害携帯マニュアルやマイタイムラインを作ること、避難場所や連絡方法、非常時の持ち出し品などを確認することができました。また、そのほかにも周りにある災害や危険なものから身を守る方法を防災ダックを通して学んだり、実際に非常食を食べたりする学年もありました。

子供たちは、「家族と避難について話し合えた」「災害の時に自分ができることが分かった」など防災への意識を高めることができました。

また、保護者の皆様にとっても、家庭での備えを見直す良い機会になったのではないかと思います。

更に、6月10日（水）、引き渡し訓練を実施しました。災害発生時を想定し、引き渡しの手順や動線を確認することができました。

保護者の皆様には、ご多用の中、参観いただいたり、訓練の円滑な実施にご協力いただいたりしたこと心より感謝申し上げます。今後も、児童の安全・安心を第一に考え、学校と家庭が連携しながら防災教育の充実に努めて参ります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



運動委員会の活動「握力大会」

近年、子供たちの体力低下が課題とされている中、本校では体力向上への意識を高めることを目的に、運動委員会の企画・運営による「握力大会」が実施されました。

大会は全校で行われ、各学年でチャンピオンを目指して熱戦が繰り広げられました。子供たちは真剣な表情で挑戦し、仲間を応援する姿も見られ、学校全体が活気に包まれました。

その結果、各学年のチャンピオンが決定しました。入賞した皆さん、おめでとうございます。また、結果にかかわらず、最後まで全力で取り組んだすべての児童の姿が大変印象的でした。

今回は、運動委員会が体力向上につながる活動を工夫して、みんなが楽しんで体を動かす機会を増やしてってくれました。これからも、他の委員会からこのようなすてきな活動が広がっていくことを期待しています。



くつがそろって「とってもいいね」

全校で取り組んでいる「くつそろえ」が、すべての学級で達成されました。どの学級も、友達同士で声をかけ合いながら取り組む姿が見られ、とてもすばらしい結果となりました。

そのがんばりをたたえ、全ての学級に「とってもいいねのトロフィー」を贈りました。受け取った子供たちの誇らしげな表情が印象的でした。

また、記念として学級写真を撮影しました。みんなの笑顔から、達成感や学級のまとまりが伝わってきました。

これからも、川尻小学校玄関のくつがそろって「とってもいいね」を目指します。



いじめ・体罰・性暴力・セクハラ等相談窓口

連絡先 川尻小学校 Tel 87-2170

担当者 校長：石原 教頭：大谷 生徒指導主事：山地 養護教諭：濱崎

スクールカウンセラー相談日

7月8日（水）11時00分～15時45分 ☆事前に学校に予約をお願いします。